

日産科学振興財団 理科／環境教育助成 成果報告書

回次：第 **5** 回 助成期間：平成 **20** 年11月1日～平成 **21** 年10月31日（期間**1**年間）

テーマ：プロジェクト・ワイルド サイエンス&シビックスの普及啓発

氏名：白倉 智美 所属：公園緑地管理財団プロジェクト・ワイルド事務局 登録番号：08177

1. 課題の主旨

“プロジェクト・ワイルド サイエンス&シビックス編”は、実際の理科実験や地質調査を実施した生きた理科教育や法律の成り立ちや経済などの社会科教育を通して、相互的・総合的に地域に根ざした環境学習ができるプログラムです。また、このプログラムは主に中学生から高校生が自主的に楽しく参加することができるようにつくられており、学校教育に幅広く活用することができます。

しかし、いくつもの利点があるこのサイエンス&シビックス編ですが、多数ある環境教育プログラムの中ではあまり知られておらず、活用されているケースがとても少ないのが現状です。

そこで、今回サイエンス&シビックス編のプログラムや利点などを具体的に紹介するパンフレットを制作しました。完成したパンフレットは、学校教育をはじめとする環境教育現場に郵送にて配布をしたり、環境教育イベントなどで解説とともに配布を行っています。最終的には、多くの方々にサイエンス&シビックス編を知ってもらい、実際に実施してもらうことで、学生たちに生きた“環境”を学んでもらい環境保全について考えてもらうことを目的としています。

2. 準備

3. 指導方法

4. 実践内容

プロジェクト・ワイルドの目的・概要、およびサイエンス&シビックス編のアクティビティ例や利点、学びの効果を掲載しました。また、プロジェクト・ワイルドサイエンス&シビックス編を実際に利用する方法についても分かりやすく記載しています。なお、全体的なデザインはプロジェクト・ワイルド全体を紹介した三つ折パンフレットやDVDのパッケージと統一し、同じプロジェクト・ワイルドのプログラムであることが分かるようにしました。

【仕様】 A3サイズ、見開きページ(全4ページ) 4色刷り

【制作部数】 40,000部

出来上がったパンフレットは、全国の農業系高等学校を始め、中学校や小学校などの教育機関や、環境関連の特定非営利活動団体やプロジェクト・ワイルド指導者、さらにはプロジェクト・ワイルド講習会を多数開催している国営公園に配布しました。

※ 農業高等学校への発送費は助成金を利用しました

さらに、プロジェクト・ワイルドホームページにも電子媒体を掲載しており、多くの方が自由にダウンロードできます。なお、要望があれば郵送にてお送りしています。

→ <http://www.projectwild.jp/s&c.pdf>

完成パンフレットは別添のとおり

5. 成果・効果

サイエンス&シビックス編を具体的に紹介するツールが今までは全くなかったために、プログラムの利点などが十分に説明できませんでした。しかし、パンフレットが完成したことにより紙媒体だけで理解いただけることができるようになりました。また、口頭で説明する際により簡潔に具体的に解説することができ、深く理解していただけるようになりました。また、パンフレットなので持ち帰って周囲の方々に回覧をしたり、どんなプログラムだったかをふりかえっていただくときにも役立っています。さらに、ホームページ掲載することで、こちらからのアプローチだけでは不十分な点もフォローできるようになりました。実際に、ホームページを見たときパンフレット発送のお問い合わせもいただいています。

6. 所感

この度の理科・教育助成によって制作したパンフレットによって、サイエンス&シビックス編の広報活動を積極的にできるようになったため、プログラムの認知度・理解度は上がっていくと思います。今後はより有効にパンフレットを活用していきたいと思います。

7. 今後の課題や発展性について

今後は、さらなる教職員や環境学習施設などへの郵送配布や、イベントなどでのサイエンス&シビックス編体験会と併せたパンフレット配布を進めていきます。さらに、プロジェクト・ワイルドの姉妹プログラムである“本編・水辺編”の講習会の受講者にも配布していきます。これは受講者が元々環境教育に興味のある方が多く、教職員や教員志望の学生も多数おり、サイエンス&シビックス編も実際に取り入れられる可能性が高いと考えられるためです。また同時に積極的な広がりのあるパンフレットの使用方法も検討していきます。

以上の結果、子どもたちへのプログラムが実施される機会が増えていくことが予想されるため、講習会の案内や講師派遣の情報配信も充実させていきます。

8. ~~発表論文、投稿記事、メディアなどの掲載記事~~